

□Tanaka, Tyôzaburo: **Tanaka's Cyclopedia of Edible Plants of the World.** pp. 924, Keigaku Publishing Co., Tokyo 1976, III. ¥ 38,000. 田中長三郎先生は 1885 年生れだから、今年で 92 才になられる。その *Citrus* の分類は有名であるが、食用植物誌についても同様である。永く、世界的に食用植物を一九とした大辞典の出版が待望されていたが、今回はじめて発刊された。まことにめでたく、出版の御祝いを申し上げますと共に、この本の成ったことを喜ぶたい。本書は学名の ABC 順に配列し、科名、異名、土名と共に利用部位と利用の仕方を述べ、つぎに産地と出典を示してある。約 1 万種にのぼる種が食用に供せられているというから驚く。さらにこの出典については、龍大なカード類が、万国博跡にできた民族学博物館に寄贈され、参考にできるといふのはありがたいことである。人口が爆発的に増大するにもかかわらず、食糧は伸び悩んでいる時に、食料植物の辞書の出版されたことはまことに喜びにたえない。末尾に 390 に昇る引用文献と、120 ページを超える俗名による学名の索引がついているのも便利である。終りに一言。Uphof の *Dictionary of economic plants* ed. 2 (1968) はよく拾ってあるが、その引用文献、たとえば Irvine: *Woody plants of Ghana* (1961) は存外拾いもらしがあるなどは、一寸みただけでも気のつくことで残念である。また本文中の引用人名と年号は活字が大きすぎる感があり、もうひと工夫したら大分ページをうすくできたであろう。それにもかかわらず、この本の出版は大きな社会的効果を来すに相違ない。(前川文夫)

□天然記念物瀬山原始林・特別名勝厳島緊急調査委員会: **厳島の自然** (Scientific studies of Itsukushima Island, Southwestern Japan) pp. X+ 490, pls. 52 (カラー含む)、別にナンバーなしのカラー図版 4、別箱入の調査地図 1、植生図 5、群落組成表 31、宮島町発行、1975 年 3 月。厳島は史跡としても古い歴史を有するが、その自然は神社信仰によって旧態がよく保たれているので、西部日本における稀なものとして国民的の財産である。しかし近年に到ってようやく環境の破壊の危険を生じて来たので、1972 年以来、広島県教育委員会、次いで宮島町が主体となって本研究が企画された。自然保護対策の基礎とするためである。実際は広島大学中心の研究者によりまとめられ、地形、地質、地理、土壌、気候、動物の諸分野に亘るが、同大学植物学教室のスタッフが関与した植物関係の報告が全頁の半分を占めている。これに関しては章を分けて森林植生の一般、砂浜、塩沼地、ヒトモトススキ、岩上蘚苔地、アカマツ林などの特殊群落・植生の研究があり、また管束植物、蘚苔、地衣をふくむ詳細な分類学的の目録がある。各々の頭初には歴史的考察、植物地理学的考察があり、これは特に管束植物において詳しい。この群については広島高等師範学校教授の乾環氏の厳島植物目録 (1918) が古いものであるが、次いで同氏および本田正次教授の調査報告 (1930) がある。広島大学の堀川芳雄教授なき後は同鈴木兵二教授らに引きつがれた上記の諸研究は 1942 年頃よりの多年に亘る多くの予備的な研究報告をもととしてここに大きくまとめられたわけである。各章英文サマリー附き。(津山 尚)